

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	合田 千佳
授業の概要				
<p>・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>・Excel表計算処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格 ・Excelを用いて簡単な集計表やデータベース、グラフを作成することができる</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<p>・ユーザ教育・社内教育担当として2年の実務経験 これまでのユーザ向けや社内向け講座の企画立案から準備・実施・フォローの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する ・専門学校講師として21年の実務経験 これまでの様々なIT資格やビジネス資格取得教育担当や職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育担当経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する ・営業事務として2年の実務経験 これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する</p>		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作 1. Excelの基本 2. データの編集 7. 関数 	<p>※授業の目的と評価方法の説明 Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する</p> <p>Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Excelの起動・終了、Excelの画面構成 データの入力、データの移動とコピー、数式の入力、ブックの保存 統計関数(SUM関数・AVERAGE関数・MAX関数・MIN関数)</p>		
2	<ul style="list-style-type: none"> 2. データの編集 3. 表の編集 	<p>絶対参照と相対参照、オートフィル</p> <p>罫線、セルの書式設定、セルの配置、表示形式の設定、列幅や行の高さの調整、行や列の挿入と削除</p> <p>ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ、禁則処理、均等割付 ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法</p>		

回	テーマ	内容
3	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題1と問題2部分の答練 7. 関数 6. ブックの利用と管理	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する 統計関数(COUNT関数・COUNTA関数) 数学/三角関数(ROUND関数・ROUNDUP関数・ROUNDDOWN関数) ワークシートの管理(シート名の変更)
4	7. 関数 6. ブックの利用と管理 5. グラフと図形の作成	統計関数(RANK.EQ関数・RANK.AVG関数) 論理関数(IF関数・OR関数・AND関数) 日付関数(TODAY関数) ワークシートの管理、ウィンドウの操作 グラフの作成、グラフの編集、図形の作成
5	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題4部分の答練 8. データベース機能	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する リストの作成、並べ替え、データの抽出、テーブル機能
6	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題3、5部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する
7	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する
8	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
9	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
10	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる

回	テーマ	内容		
11	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
12	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
13	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
14	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
15	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級サーティファイHPからダウンロードしたサンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Excel2016クイックマスター基本編(ウィネット) Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(サーティファイ)		確認テスト 課題・レポート 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	【授業準備】 テキストを読み予習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅲ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三村 梨恵

授業の概要

サービス接客検定2級取得を目標
6月以降はビジネス文書3級の勉強を行う

検定取得と併せて、就職して新人研修を行わなくても、すぐ現場で接客できるようマナーについても勉強する。

授業終了時の到達目標

サービス接客検定2級合格
社会人として必要なマナーを身につける
就職先で同僚や上司にかわいがってもらえる人になるのが、目標!

実務経験有無	実務経験内容
有	一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして13年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識	Ⅱ 専門知識 2、従業知識 ① 商業活動、経済活動が理解できる ② 商業用語、経済用語が理解できる Ⅲ 一般知識 1、社会常識 ① 社会常識がある ② 時事問題を理解している
2	Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識	過去問 Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識
3	Ⅳ 対人技能	1、人間関係 ① 人間関係の対処について、理解がある 2、接客知識 ① 顧客心理を理解し、能力を発揮することができる ② 一般的なマナーを発揮できる ③ 接客者としてのマナーを、発揮することができる

回	テ ー マ	内 容
4	IV対人技能	3、話し方 ①接遇用語を知っている ②接遇者としての話し方ができる ③提示、説明ができる 4、服装 ①接遇者としての適切な服装ができる
5	IV対人技能	過去問 IV対人技能
6	V実務技能	1、問題処理 ①問題処理について、対処できる 2、環境整備 ①環境整備について、対処できる 3、金品管理 ①金品の管理について、能力を発揮できる 4、金品搬送 ①送金、運搬について、理解できる 5、社交業務 ①社交儀礼の業務について理解し、処理できる能力がある 過去問
7	過去問	V実務技能
8	過去問	V実務技能
9	POP作り	お店や病院でPOP作りをするときのポイント
10	I表記技能	1、総合 ①文字を、丁寧に、正しく、読みやすく、整えて書くことができる 2、用字 ①やさしい実用文に使われる常用漢字と、固有名詞やビジネス用語に使われる漢字とを書くことができる ②常用漢字表にはあるが、仮名書きすべき語句を、一応、知っている
11	I表記技能	2、用字 ③「現代仮名遣い」について、一応、知っている ④「送り仮名の付け方」を正しく使える ⑤片仮名が正しく書け、仮名書きする語句について、一応、知っている ⑥数字が正しく書け、漢数字と算用数字との使い分けができる ⑦句読点が正しく使える

回	テ ー マ	内 容		
12	I 表記技能	3、用語 ①一般の用語について、一応、知っている ②やさしい同音異義語や異字同訓語を使い分けができる ③慣用の手紙用語について、一応、知っている		
13	I 表記技能	4、書式 ①横書き通信文の構成とレイアウトについて、一応、知っている		
14	I 表記技能	I 表記技能 過去問題		
15	I 表記技能	過去問題 I 表記技能		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定	2級 受験ガイド	期末試験 出席率 課題・レポート	80.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】
ビジネス文書検定	3級 受験ガイド		10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅳ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
就職した際に必要な文書の知識を身につける				
授業終了時の到達目標				
ビジネス文書検定3級合格 社会人として必要なマナーを身につける 就職先で同僚や上司にかわいがってもらえる人になるのが、目標!				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして13年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	Ⅱ表現技能	1、正確な文章 ①普通の長さの文を、文法的によじれなく書ける。 ②類義語を使い分けができる。 ③曖昧な用語や二通りに解釈できるような語句について、一応、知っている。		
2	Ⅱ表現技能	2、分かりやすい文章 ①表題(件名)が付けられる。 ②箇条書きなどを使って、文章を分かりやすくすることができる。 2、分かりやすい文章 ①表題(件名)が付けられる。 ②箇条書きなどを使って、文章を分かりやすくすることができる。 ③分かりやすくするための図表が書ける。		
3	Ⅱ表現技能	3、礼儀正しい文章 ①人を指す言葉、敬称を知っている。 ②「お・ご(御)」を正しく付けられる。 ③動作の言葉に付ける尊敬語と謙譲語とを、単純な場合に、正しく使うことができる。		
4	Ⅱ表現技能	3、礼儀正しい文章 ④丁寧な言葉を遣い、丁寧な言い回しが、一応、できる。 ⑤現在用いられている手紙上のエチケットやしきたりを、一応、知っている。		
5	Ⅱ表現技能	過去問題 Ⅱ表現技能		

回	テ ー マ	内 容
6	Ⅱ 表現技能	過去問題 Ⅱ 表現技能
7	Ⅲ 実務技能	1、社内文書 ①簡単な社内文書（通知文など）が書ける。
8	Ⅲ 実務技能	2、社外文書 ①簡単な業務用社外文書が、文例を見て書ける。
9	Ⅲ 実務技能	3、文書の取り扱い ①受発信事務について、一応、知っている。 ②「秘」扱いの文書の取り扱いについて、知っている。 ③郵便について、一応、知っている。 ④用紙の大きさ、紙質について、一応、知っている。 ⑤印刷物の校正について、知っている。
10	Ⅲ 実務技能	過去問題 Ⅲ 実務技能
11	Ⅲ 実務技能	過去問題 Ⅲ 実務技能
12	Ⅲ 実務技能	過去問題
13	過去問題	I 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能
14	過去問題	I 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能
15	過去問題	I 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能

回	テ ー マ	内 容		
16	確認テスト	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
17	確認テスト解説 過去問題	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
18	過去問題	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
19	過去問題	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
20	過去問題	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
21	検定解説	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
22	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
23	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
24	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
25	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
26	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
27	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
28	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
29	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
30	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定受験ガイド3級		期末試験 出席率 課題・レポート	80.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。 【準備学習】 次回の授業内容を

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学 実技 筆記試験、実技試験にむけて対策と 実演をする				
授業終了時の到達目標				
一般社団法人 全国動物専門学校協会 サロントリマー3級取得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしての長年の経験を生かし 試験対策を通し実務につながることで 学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
過去問題を常時配布するので 解いてみる				
回	テーマ	内容		
1~ 2	プードルケネル&ラム	クリッパー実演		
3~ 14	プードルケネル&ラム講義	全体の切り方の注意事項の説明		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	授業前に過去問題を復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	
トリミング実習BASIC I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	実習	
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	60回	4単位(120時間)	必須	吉本, 山地, 森, 北村, 三村	
授業の概要					
1年次のグルーミング実習の復習とスピードアップ 部分的・簡易的な全身カットに必要な、トリミング技術を学ぶ					
授業終了時の到達目標					
ペット技能検定協会 トリマー2級合格 2時間以内にグルーミング作業を終わられるようになる					
実務経験有無		実務経験内容			
有		吉本真紀 トリマーとして27年 森 純子 トリマーとして14年 三村梨恵 トリマーとして13年 山地香里 トリマーとして3年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修					
実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく					
回	テーマ	内容			
1~60	基礎	1年次の復習とスピードアップ 部分的なカットを学ぶ			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
プロが教えるベスト・トリミング 最新 ドッググルーミングマニュアル 他		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習BASIC II		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	吉本, 山地, 森, 北村, 三村
授業の概要				
グルーミングの基礎復習からさらにスピードをアップさせる				
授業終了時の到達目標				
グルーミングを2時間以内に終わらせる 部分カットができるようになる トリミングライセンス試験2級を目指す				
実務経験有無		実務経験内容		
有		吉本真紀 トリマーとして27年 森 純子 トリマーとして14年 三村梨恵 トリマーとして13年 山地香里 トリマーとして3年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる		
時間外に必要な学修				
実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく				
回	テーマ	内 容		
1~50	基礎	時間を意識し、一人でどのような犬でもグルーミングができるようになる		
51	モデル犬チェック	ペットビジネススクール協会トリマー2級対策グルーミング作業が2時間で完璧に終了する。		
52~60	基礎と応用	試験を意識し、作業の効率化を目指す		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合

授業の概要

イヌ・ネコに携わる業務に就くにあたり、必要とされる動物のケアに関する知識・技術について学ぶ

授業終了時の到達目標

動物の状態変化に素早く気づき、応急的に対処できるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	動物看護師として12年の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	疾患について 皮膚	基礎的な皮膚疾患について理解する
2	疾患について 皮膚2	基礎的な皮膚疾患について理解する
3	疾患について 感覚器	基礎的な感覚器系疾患について理解する
4	疾患について 感覚器2	基礎的な感覚器系疾患について理解する
5	疾患について 消化器系	基礎的な消化器系疾患について理解する
6	疾患について 寄生虫	基礎的な寄生虫関連疾患について理解する
7	疾患について 寄生虫2	基礎的な寄生虫関連疾患について理解する
8	疾患について 感染症	感染症について理解する
9	疾患について 整形外科	基礎的な整形外科系疾患について理解する
10	疾患について 呼吸器系	基礎的な呼吸器系疾患について理解する
11	疾患について 循環器	基礎的な循環器系疾患について理解する
12	疾患について 泌尿器	基礎的な泌尿器系疾患について理解する
13	疾患について 生殖器	基礎的な生殖器系疾患について理解する
14	疾患について 内分泌系	基礎的な内分泌系疾患について理解する

回	テ ー マ	内 容		
15	総まとめ	総まとめ		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	トリマーのためのベーシック獣医学（インターズー）	期末試験 出席率	90.0% 10.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
繁殖飼育学		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義				
繁殖の知識と犬の育て方や売り方までを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
繁殖に関するモラルとノウハウを身につけ またペット業界の現状を知るため				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ブリーダー歴27年の経験をいかし 学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
学校で習ったことを復習する				
回	テーマ	内容		
1	繁殖とはなにか	ブリーダーとしての心構えを身につける		
2	血統書の作り方	血統書の価値をよく知ること		
3~ 4	繁殖の方程式を理解する	計画繁殖をするために		
5~ 6	交配に関して	交配の時期や交配の仕方について		
7~ 8	出産までの流れ	交配から出産直前までの流れを説明		
9~ 10	出産に関して	出産の立ち会い方		
11~ 12	子犬の健康維持について	生まれてきた子犬の管理方法の説明		
13	離乳期の飼い方	離乳食の与え方		
14	仔犬の譲渡の仕方	譲渡するときの注意事項		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
スライドを使用し説明する。		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	事前学習 前回の授業の内容 を熟読すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅲ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	齋藤 小百合

授業の概要

動物関係法令や動物愛護運動史、保護衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に修得・普及する指導員を養成する。

授業終了時の到達目標

- ・愛玩動物飼養管理士一級の取得
- ・ペットの習性や正しい飼い方、動物関係法令、動物愛護の精神などの知識を身に付ける

実務経験有無

実務経験内容

有

動物看護師として8年間、動物病院で勤務

時間外に必要な学修

前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

回	テーマ	内容
1～2	第1編 動物愛護論Ⅱ 日本における動物愛護運動の歴史と展望	第1章 日本における動物愛護運動の起こり 第2章 第二次世界大戦後の動物愛護運動
3～4	第1編 動物愛護論Ⅱ 日本における動物愛護運動の歴史と展望	第2章 第二次世界大戦後の動物愛護運動 第3章 動物愛護の今後の展望
5～6	第2編 動物関係法令	第1章 動物と法律
7～8	第2編 動物関係法令	第2章 飼養動物と関係法令
9～10	第2編 動物関係法令	第3章 野生動物と関係法令
11～12	第2編 動物関係法令	第3章 野生動物と関係法令
13～14	第3編 動物の行動と社会	第1章 行動とは何か、社会とは何か
15～16	第3編 動物の行動と社会	第6章 犬と猫の行動と社会
17～18	第3編 動物の行動と社会	第7章 問題行動とその予防と対処
19～20	第4編 犬と猫の栄養学	第1章 栄養素とその機能
21～22	第4編 犬と猫の栄養学	第2章 犬と猫が必要とするエネルギーと栄養素
23～24	第4編 犬と猫の栄養学	第3章 ライフステージと栄養
25～26	第4編 犬と猫の栄養学	第4章 犬と猫のペットフードの進展

回	テ ー マ	内 容		
27～ 29	確認テスト	過去問題を解いて解説する		
30	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士一級第1巻		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅳ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に習得・普及する指導員を養成する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物飼養管理士一級の取得 ・ペットの習性や正しい飼い方、動物関係法令、動物愛護の精神などの知識を身に付ける 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として12年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1~2	第Ⅴ編 動物の遺伝と繁殖生理	第1章 動物の遺伝と繁殖生理 第2章 動物の繁殖生理		
3~7	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第1章 動物の疾病とその予防		
8~10	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第2章 犬の疾病とその予防		
11~12	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第3章 猫の疾病とその予防		
13	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第4章 その他の哺乳類の疾病とその予防		
14	第Ⅶ編 動物の飼養管理と公衆衛生	第1章 人と動物の共生に必要な公衆衛生の課題		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士1級教本(上・下)		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
しつけトレーニング実習Ⅲ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
試験に合格する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習をしておく				
回	テーマ	内容		
1~10	クリッカー集中	集中力アップ		
11~20	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
21~30	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
31~45	通しの練習	試験の練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		実習・実技評価 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
しつけトレーニング実習Ⅳ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
警察犬訓練・セラピー活動での珍芸を覚える				
授業終了時の到達目標				
他人の臭いを嗅ぎ分ける・珍芸を披露できるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習しておく				
回	テーマ	内 容		
1~14	臭気選別	基礎を学ぶ		
15~29	臭気選別(他人)	他人の臭いをあてる		
30~39	臭気選別(0回答)	答えが無くても帰ってくる		
40~45	珍芸	オリジナルの芸を教える		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		出席率 期末試験	10.0% 90.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アジリティ実習Ⅲ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
遠隔で犬と人が意思の疎通をはかりアジリティを理解する				
授業終了時の到達目標				
基礎的なコースを走らせる事が出来るようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習しておく				
回	テーマ	内容		
1~15	スラローム・ハードル・トンネル	個別に練習		
16~30	検分・コース	簡単なコースを走る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		実習・実技評価 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アジリティ実習Ⅳ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬と人が意思の疎通をはかり、アジリティのすべて知る				
授業終了時の到達目標				
競技大会に参加可能レベルまで、アジリティの精度を高める				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習しておく				
回	テーマ	内容		
1~9	タッチ障害	シーソーなどできるようになる		
10~19	タッチ障害とハードル	組み合わせ		
20~30	1度レベルのコース	総合		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		実習・実技評価 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグトレーニング概論Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
よくある飼い主が相談するしつけ相談の内容をもとに解決の仕方を説明する。 時には犬を使って訓練する				
授業終了時の到達目標				
様々な問題行動の対応ができるようになること				
実務経験有無		実務経験内容		
有		警察犬訓練所に長く勤めていた経験をいかし 学生の将来の指針になるようにする		
時間外に必要な学修				
授業の内容をモデル犬の訓練にいかす				
回	テーマ	内容		
1	トレーニングの必要性	日本の家庭犬を取り巻く環境を知る		
2	トレーニングの必要性	トレーニングの必要な時はどんな時なのか考えよう		
3~5	トレーニングの必要性	成犬になってからのトレーニングの必要性		
6~8	トレーニングの必要性	犬種によるありがちな問題行動		
9~10	飼い主がトレーナーに頼らない現状	飼育で困っている飼い主なぜ飼い主に頼らないのか		
11~12	トレーニング系の仕事について	飼い主はどこに頼る事が多いのか考えよう		
13	しつけインストラクターとは	訓練士ではないしつけインストラクターとは?		
14	しつけインストラクターの在り方	お客様の身近に感じるインストラクターとは?		
15	みんなはどうなりたいか	2年間勉強してどのような立場の人になりたいのか		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCトレーニングマニュアル		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	事前学習 前回のノートをよくよむこと

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物機能形態学		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義 犬種の仕事別の体格や外観の違いを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
販売や訓練時に犬の質を見極めて評価し その犬にあった対応ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		JKC単犬種審査員の知識をいかし 犬の見極め方を伝授する		
時間外に必要な学修				
実習関連で触れる犬たちの体の構成をよく観察すること				
回	テーマ	内容		
1	AKCグループわけと犬の構成の基礎	犬の理想の骨の角度の大事さを知る		
2	スポーティンググループ	スポーティンググループの体の特徴を知る		
3	スポーティンググループ2	スポーティンググループ、スパニエル系の特徴を知る		
4	ハウンドグループ	ハウンド系の体の特徴を知る		
5	ワーキンググループ	超大型犬の体の特徴を知る		
6	テリアグループ	長脚テリアの特徴を知る		
7	テリアグループ2	短脚テリアの特徴を知る		
8	ハーディンググループ	牧羊犬の特徴を知る		
9	ハーディンググループ2	コーギーなどの特殊犬種を知る		
10	ノンスポーティンググループ	ビションなどの特徴を知る		
11	トイグループ	プードルやパピヨンなどの特徴を知る		
12	ジャッジング学	プードルの見極め方		
13	ジャッジング学	シュナ。ダックスの見極め方		
14	ジャッジング学	シーズーマルチーズの見極め方		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	最新犬種図鑑	期末試験	90.0%	
		出席率	10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ハンドリング学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
実技 試験にむけて試験科目の練習を繰り返す 犬が試験会場でも緊張せずできるように 体で覚えるようにする				
授業終了時の到達目標				
JKCハンドラーC級取得 犬をいきいきと動かすようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ハンドラー歴27年の経験を生かし 犬の扱いを指導する		
時間外に必要な学修				
常に犬とのスキンシップをとり より仲良くなること				
回	テーマ	内容		
1~14	試験科目を繰り返し練習	できないことの原因を追究し次週までに改善		
15	期末試験	ライセンス試験と同じ内容で実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCハンドリングマニュアル		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
問題行動学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
実践的に問題行動に取り組むことができる				
授業終了時の到達目標				
様々な飼い主からの相談に答えられる知識を持つ				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習しておく				
回	テーマ	内容		
1~4	問題行動とは	問題行動についての基礎知識習得		
5~15	実際の治療	実際の飼い主から話を聞いて治療		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
問題行動学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
色々な問題行動について				
授業終了時の到達目標				
様々な飼い主からの相談に答えられる知識を持ち、教えることができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
テキストを読んで予習をしておく				
回	テーマ	内容		
1～5	系統的脱感作用	雷など		
6～10	例題	色々な問題を解決する		
11～15	総合	飼い主に教えるためには		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アニマルセラピー実習 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションが取れるようになる ・動物を介して、よりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		齋藤小百合: 動物看護師として12年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、動物を介しての人との関わり方を指導する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~2	アニマルセラピーとは	アニマルセラピーを理解する		
3~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く 担当犬の衛生管理 (シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アニマルセラピー実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションがとれるようになる ・動物を介してよりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として12年、動物病院に勤務する。		
時間外に必要な学修				
セラピーに連れて行く担当犬の衛生管理(シャンプー、レクリエーション準備)				
回	テーマ	内容		
1~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	